

啄木学級 文の京講座 応募方法

！ 応募者1名につき往復はがき1枚が必要です

往復はがき(1枚につき1名まで)に必要な事項(記入例参照)をご記入の上
 で応募ください(文京区在勤・在学の方はその旨を記載)。

※電話・FAX・E-mail等での応募はできません。

※結果発表は返信ハガキの発送をもって代えさせていただきます。

※応募が定員を超える場合は抽選となります。

往復はがき1枚での複数名の応募、記載内容の不備、料金の不足等があった場合は無効となりますのでご注意ください。

応募先 〒020-0871 盛岡市中ノ橋通一丁目1-10
 (公財)盛岡観光コンベンション協会「啄木学級」係

往復はがき記入例

返信はがき / 表面	往信はがき / 裏面
郵便番号 85 お名前 ご住所	①「啄木学級」応募 ②郵便番号・住所 ③氏名(フリガナ) ④電話番号

往信はがき / 表面	返信はがき / 裏面
020-0871 盛岡観光コンベンション協会 盛岡市中ノ橋通一丁目1-10 (公財)	※この面には 何も記入しないで ください。

締切日
6/13(金) 消印有効

受講料
無料

定員
300名 (うち文京区在住・在勤・在学者180名)

石川啄木 本名 石川 一(はじめ)



1886年(明治19年)2月20日、南岩手郡日戸村(現・岩手県盛岡市)の常光寺で生まれ、翌年、住職である父親の転任により、家族で浪民村(現・盛岡市浪民)の寶徳寺に移り住む。1902年、盛岡中学校を中退して上京し、小日向台町(現・文京区音羽)に下宿。与謝野鉄幹・晶子夫妻から文学の指導を受ける。病を得て故郷へ戻り、1904年、詩集刊行を目的に上京。向ヶ丘弥生町(現・文京区弥生)に居留し、翌年、初の詩集『あこがれ』を刊行。同年、盛岡市に戻り、新婚生活を営みながら、文芸雑誌『小天地』を発行。1906年、浪民尋常高等小学校の代用教員となるが、教師生活を1年間で終え、翌年5月、北海道へ渡る。各地を漂泊のち、新たな文学活動の展開を願い、1908年4月に上京し、同郷の先輩・金田一京助を頼りに、菊坂町の赤心館、その後、森川町の蓋平館別荘(ともに現・文京区本郷)に下宿。翌年6月、家族を迎えて弓町(現・文京区本郷)の喜之床(現・新井理髪店の地)に移る。一生に二度とは帰って来ないのちの一秒を惜しみ、また、故郷への想いを短歌に表して、1910年12月、第1歌集『一握の砂』が出版された。自由な作風と三行書きの特徴をもつ短歌は、当時の文壇の人々を驚かせた。1912年(明治45年)4月13日、結核のため、久堅町(現・文京区小石川)にて26歳2か月の生涯を閉じた。2か月後、第2歌集『悲しき玩具』が刊行された。

会場までのアクセス



- 東京メトロ「後楽園」駅 丸ノ内線(4a・5番出口)・南北線(5番出口)徒歩1分
- 都営地下鉄「春日」駅 三田線・大江戸線(文京シビックセンター連絡口)徒歩1分
- JR総武線「水道橋」駅(東口)徒歩9分

友好都市 - 啄木がつなぐ文京区と盛岡市の絆 -

平成31年2月20日、石川啄木生誕の地である盛岡市と終焉の地である文京区は、啄木生誕の日でもある2月20日にちなみ、教育文化、スポーツ、産業等の交流を促進することにより、両都市の住民相互の理解と友情を深め、持続的な友好が図られることを願い、友好都市として提携しました。これまでに「啄木学級文の京講座」をはじめ、「文京博覧会」や「盛岡さんさ踊り」等を通じた交流が続いています。

啄木終焉の地歌碑と顕彰室(文京区)

石川啄木が生涯を閉じた文京区小石川5丁目には、啄木終焉の地を記念する歌碑と顕彰室があります。歌碑には、啄木最後の歌とされる第二詩集『悲しき玩具』冒頭の二首が刻まれているほか、顕彰室には石川啄木記念館(盛岡市)提供の写真や年表、直筆原稿や書簡のレプリカなどが展示されています。

開室時間 9:00~17:00(年末年始、特別開室時を除く)
 所在地 東京都文京区小石川5-11-8
 交通 東京メトロ丸ノ内線 茗荷谷駅下車 徒歩7分
<https://www.city.bunkyo.lg.jp/bunka/kanko/spot/ato/kensyousitu.html>



石川啄木記念館・盛岡市玉山歴史民俗資料館
 貴重な直筆書簡など、啄木ゆかりの資料を展示。



令和7年4月13日リニューアルオープン

〒028-4132 岩手県盛岡市浪民字浪民9
 TEL 019-683-2315 FAX 019-683-3119
<https://www.mfca.jp/takuboku/>



もりおか啄木・賢治青春館
 1910年(明治43年)に竣工した旧第九十銀行を保存活用して、啄木と宮沢賢治が青春を育んだ盛岡の街と2人の青春時代を紹介しています。

〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通一丁目1-25
 TEL・FAX 019-604-8900
<https://seishunkan.jp>



啄木新婚の家
 石川啄木が堀合節子との新婚生活を始めた家。随筆『我が四畳半』に新婚当時の様子が書かれています。

〒020-0021 岩手県盛岡市中央通三丁目17-18
 TEL 019-624-2193

各施設の最新の情報はホームページ等でご確認ください。

※新たに盛岡市玉山歴史民俗資料館との複合施設になりました。